

ひまわり

11

2022
NOV



もくじ

- 2 情勢 「作業所まつり」から「ハートフェスタ」へ
～地域と共にあゆむ事業所づくりのために～
- 3 集まろう つながろうフェスタ2022 開催報告
- 4 きょうされん第45回全国大会in東北・いわて
3年ぶりに全国の仲間があつまりました！
- 5 ちょっと聞いてよ！ 第41回
ええもん見つけ！「ごちそう味噌」
- 6 私たちと一緒に働いてみませんか？・時・ご寄付



今月号の表紙写真：第二かめおか作業所（橋本武藏さん）
お給料取り組みでコスモス園におでかけしました。
「お天気も良くて楽しかったです！」

社会福祉法人 亀岡福祉会

○法人本部：〒621-0033 京都府亀岡市薄田野町佐伯大門30-1

TEL:0771-24-2596 FAX:0771-24-2597

H P <http://www.kamecomyu.net/>

「作業所まつり」から 「ハートフェスタ」へ

～地域と共にあゆむ事業所づくりのために～

西村 直

TADASHI NISHIMURA

社会福祉法人 龍岡福祉会
理事長

「作業所まつり」の誕生

現・かめおか作業所所在地（稗田町佐伯大門）が「社会福祉法人龍岡福祉会」の前身の「龍岡共同作業所」誕生の地です（1978年昭和53年）。30メートル×20メートルぐらいの平屋建てプレハブのスタートでした。

当時は、通所型施設制度の法整備はできたばかり、龍岡市内には家から通う通所型の福祉施設は一ヵ所も無い時代でした。突然「出現」した「共同作業所」という社会資源には馴染みはなく「どこの工事現場ですか」という言葉がとびかったのは不思議ではありますでした。「地域の願いで誕生した作業所」「丹波養護学校（現・支援学校）の卒業生の働く場を」とのスローガンが市民の中に浸み込んでいくのは一定の時間が必要でした。日々の作業や製品販売、小学校との交流会など日々の活動を通じて理解と共感は徐々に深まっていきましたが、「さらに深く、濃い」つながりを広めていくには、私たちの「発信」の工夫が求められました。そこで取り組んだのが「作業所まつり」です。「ぼくにもできる仕事との出会い」「なんでも言い合える仲間との出会い」など、作業所ができたこ

とによる喜びや願いを市民の方々に伝え共感を広げたい思いで準備しました。

「作業所まつり」から 「ハートフェスタ」へ

ベントづくり」がその根底にあります。た。

イベント開催の役割

プレハブ時代にはご近所の方々だけをお呼びしささやかな「集まり」でしたが、法内施設になつた1983年からは、かめおか作業所前の広場に「特設ステージ」を設置し稗田町民のカラオケ大会、作業所内での展示、メンバーの出し物、模擬店など本格的な「おまつり」イベントになり交流も深まつきました。その後、法人内の事業所の増加に伴つて苗秀寺さん駐車場、「たこ公園」、現ガレリア設置場所にあつたJA広場など、会場と参加規模、形態も変わっていきました。第二かめおか作業所が開所した1995年頃から社会福祉法人信和福祉会（圭の家）の2法人で開催、「ハートフェスタ」と改称、龍岡市運動公園開催で定着してきました。2011年からはNPO法人自立支援生活センター（太陽共同作業所）も加わり3法人共催の「秋の市民のまつり」として根を張つてきました。いつの時代でも「変化する地域と利用者の生活の中でそれに応えるイ

より伝わりやすい企画、スムーズな運営、安全第一、告知、宣伝の工夫など数か月かけて準備し、当日を迎えます。改めて私たちが開催する市民向けイベントには次のような大切な役割を担つていてることがわかります。一つは、障害のある人への理解と共感を広げると共に障害のある人が安心してくらす課題を表舞台に引き上げる役割です。二つは、行政や自治会など市民や他の事業所、幅広い団体との連携を深める場です。三つは、龍岡福祉会関係者がいつそう強く固く手をつなぎ直す場ということです。日々の活動だけでは手に入れるることはできない「イベントがもつ秘めた力」と言えないでしょうか。残念ながらこの2年間はコロナ感染症の拡大で開催できなかつたイベントでした。来年はまた他法人との共同開催ができることを願い、今年は「集まろう つながろうフェスタ」として龍岡福祉会で開催します。心地よい秋の一日をお楽しみください。

元気ですか？

つながろう フェスタ2022 11月6日、晴天の中開催されました！

※今回は写真のみでのご報告です。詳細は1月号で改めてお知らせしたいと思います。



会場は多くのお客様で賑わいました



展示にて各事業所の紹介をしました



今年はステージを作らずに事業所の発表をしました



メンバーもお店を出して「いらっしゃいませ～」

社会福祉法人亀岡福祉会が感謝状をいただきました

同時に開催された「ふれあいフェスティバル2022」の企画で映画「星に空りて」上映会を「亀岡市障害者啓発事業実行委員会」様が開催していただき130の方々が鑑賞していただきました。「自然災害には平時の備えが必要」と多数の感想が寄せられました。



映画「星に語りて」上映、
130人が鑑賞

10月16日（日）ガレリア亀岡で開催された第39回障害者福祉大会が開かれました。式典で亀岡市障害児者を守る協議会から「長年の地道な活動」に対しての社会福祉法人亀岡福祉会に感謝状をいただきました。

ありがとうございました。



亀岡市障害児者を守る協議会
より感謝状